



ペタボード をやってみよう

【ペタボードとは】

静岡県発祥のスポーツです。床の上で「ビュット」と呼ばれる樹木製の「こま」を「キュー」という「スティック」で押し出し、ビュットがとまったところに印された得点を競うゲームです。また、工夫次第でさまざまなゲームを行うことができます。ここでは基本のゲームを紹介します。

【用具とコート】

●コート

正式に決まってはいるないが、スタートラインからビュットを2～4m以内に置いて、競い合うのでそれに見合った広さのある滑らかな床のある場所で行う。

●キュー

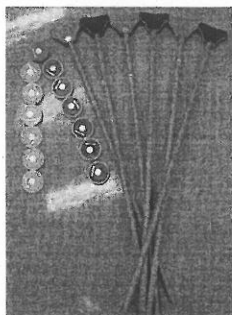
ディスク、ビュットを滑らすために使う道具。

●ディスク

チームごとに色の違うディスクが6枚ずつ計12枚。

●ビュット

ディスクを近づけるための的となるもの。



【人数】

3人対3人で行う。(1人対1人でも可能)

【試合の進め方】

①ジャンケンで、先攻後攻を決める。

②先攻のチームはスタートラインからビュットを2m～4mの間に押し出す。

③続けて先攻チームからビュットにむけてディスクを押し出す。

その後、後攻チームがディスクを押し出し、先攻・後攻と繰り返していく。すべてのディスクを押し出す。

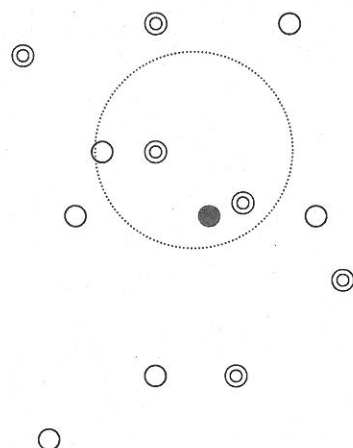
④その際には自分チームのディスクをいかに相手チームのディスクより多く、ビュットに近づけられるかを考え、相手ディスクを押し出したり、味方のディスクを押して、近づけたりしてもよい。

⑤すべてのディスクを押し出した後、ビュットに一番近いディスクのチームが勝利となる。得点は相手チームのどのディスクよりビュットに近い自チームのディスクの数だけ得点になります。(下図参照)

⑥2ホール目から前ホールの勝利チームが先攻となり、8ホールを基準として競い合い、最終ホール後の合計得点で勝敗を決する。

【得点例】

◎チーム 2点
○チーム 0点



【反則】

①スタートラインにディスクを接触させないで競技をした場合は、そのディスクは「デッドディスク」となり、コートより取り除き、減点1とする。(1回につき)

②スタートラインにプレーヤーの足が触れた場合は、「デッドディスク」となり、コートより取り除き、1点減点となる。

③同チームが続けてプレーした場合は相手チームは自チームのディスクを任意の場所に置くことができる。または、相手チームのディスクを任意の場所に置き換えることができる。

④デッドディスクにより、移動したビュットやディスクは移動したままの位置で進める。

【その他のゲーム】

ペタボードは上記で紹介した基本のゲームのほかにも、工夫次第で下のようさまざまなゲームを楽しむことができる。

A マッチスコアー

このゲームはビュットの代わりに、下図のような得点シートをスタートラインから2～4mの間に設置し、得点を競い合う。

1	-3
5	10

B ゲットサークル

このゲームはビュットの代わりに直径90cmのサークルが描かれたシートをスタートラインから2～4mの間に設置し、相手のどのディスクよりも円内の中心点に近いディスクの数だけ得点して、競い合う。